

システム変更等のお知らせ

(2007. 1. 1-2007. 3. 7 変更)

システム運用係

1 ハードウェア … 変更

1.1 SR8000/MPP のサービス終了

SR8000/MPP は 2007 年 3 月 7 日をもってサービスを終了しました。

1.2 運用支援システムのサービス終了

運用支援システムは 2007 年 3 月 6 日をもってサービスを終了しました。

2 ソフトウェア … 変更

2.1 H I - U X / M P P ; mpp-s, mpp-bt … なし

2.2 A I X 5 L ; sr11000-s, batch … 変更

最適化C	01-03- / B (2007.1.21)
------	------------------------

2.3 V O S 3 / F S ; m-vos … なし

2.4 H I - O S F / 1 - M J ; m-unix … なし

3 その他

3.1 2007 年 3 月下旬以降のサービスについて

SR11000 は 2007 年 3 月 25 日 8:30 から 4 月 2 日 9:30 にかけてサービスを停止し、システム増強を行うと共にサービス内容を変更します。この際、全ての待ちジョブはキャンセルされます。詳細については本誌別記事「システム入れ替えおよび 2007 年度のサービスについて」をご覧ください。

3.2 オープンフロアー他、サービスの終了について

オープンフロアーのサービスは 2007 年 3 月 6 日、電話回線経由による利用は 2007 年 3 月 7 日をもってサービスを終了しました。

3.3 SR8000/MPP 超並列ジョブ実行サービスの終了について

SR8000/MPP にて毎月 1 回、第 1 週金曜日から翌月曜日にかけて実施していました超並列ジョブ (128 ノード) 実行サービスは、2007 年 2 月をもちましてサービスを終了しました。

3.4 SR11000 open キューサービスの終了について

SR11000 にて毎月 1 回、第 4 週金曜日から翌月曜日にかけて実施していました open キューサービスについては、2007 年 2 月をもちましてサービスを終了しました。

3.5 年度末の /short/batch、/para-io のファイル削除について

2007 年度のサービスへの変更に伴い、2007 年 3 月末に SR11000 の /short/batch および /para-io のファイルを全て削除します。必要なファイルは本年度のサービス終了 (3 月 25 日 8:30) までに各自で移行していただきますようお願いします。

3.6 マニュアル Web 閲覧サービスの利用について

マニュアル Web 閲覧サービスについては、SSH による sr11000-s へのログインおよび SSH のポートフォワーディング設定 (ローカルホストの特定のポート番号を "manual" のポート 80 番に転送) を行い利用していただきますようお願いします。

■UNIX の設定例 (接続例)

ターミナルに次のコマンドを入力します (下線部は適宜変更してください)。

```
% ssh -L 8080:manual:80 sr11000-s.cc.u-tokyo.ac.jp -l p06xxx  
※ 8080 : ローカルホストのポート番号
```

次にパスワードを入力し sr11000-s にログインします。sr11000-s にログインしたまま、Web ブラウザで次の URL を参照します。

```
http://localhost:8080/manual-j/index.html
```

※Windows の設定例等の詳細は次の Web ページをご覧ください。

- ・SR11000 マニュアル Web 閲覧サービスのお知らせ

```
http://www.cc.u-tokyo.ac.jp/service/system_info/man/SR11000ManualService.html
```

3.7 SSH 接続時のメッセージについて

SR11000 のシステム増強実施のため、2007 年 4 月 2 日のサービス開始以降 SSH による sr11000-s への初回の接続時にサーバのホストキーが異なる旨のメッセージが表示される場合があります。メッセージはご使用の環境により異なりますので、メッセージに従い対処していただきますようお願いします。

3.8 コンパイルオプションの変更について

f77, f90, cc, sCC (CC) コマンドで作成されるオブジェクトモジュールおよびロードモジュールのアドレッシングモードについては、これまでは 32 ビット (-32 オプション) が標準でした。2007 年 4 月より、標準を 64 ビット (-64 オプション) に変更します。

また、これに伴い size 等のコマンドについても標準を 64 ビットに変更します。詳細は本誌別記事「64 ビットモード標準化における注意点」をご覧ください。

3.9 fwrite 関数の使用における注意事項

SR11000 における C 言語の fwrite 関数では 2GB 以上のデータを一度に書き込むことはできません。この場合 write 関数をご使用いただきますようお願いいたします。

関連記事がスーパーコンピューティングニュース Vol. 8 No. 5, 2006. 9「C 言語におけるファイル入出力の高速化」にあります。併せてご覧ください。

3.10 プログラム相談室の閉室について

本センター 1 階にあるプログラム相談室は今年度で閉室します。詳細は本誌別記事「プログラム相談員室閉室について」をご覧ください。

3.11 2007 年度の月末処理日について

2007 年度の月末処理によるサービス休止日は、原則として月の最終金曜日になります。日程は本誌別記事「サービス休止等のお知らせ」をご覧ください。

■最適化オプションについて

コンパイラの最適化オプションについて、本センターでは FORTRAN, C とともにレベル 3 (-O3) が標準です。これ以外には以下のオプションを使用できます。

- ・最適化FORTRAN90/77 -O0*, -O3 (デフォルト), -O4, -Os, -Oss
- ・最適化C, 最適化標準C++ -O0*, -O3 (デフォルト), -O4, -Os

※-O0 は英文字オーと数字のゼロ

-O4, -Os, -Oss を指定することによりプログラムの実行速度の向上が期待できます。なお、最適化機能には副作用を含むものがあり、最適化によっては計算結果が異なったり、エラーが生じる場合がありますので十分理解した上でオプションを使用してください。

最適化オプションについての詳細はスーパーコンピューティングニュース Vol. 8 No. 6, 2006. 11「UNIX システム利用入門 ～後編～」およびマニュアルを参照してください。